

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	2034	(H.24)No.	2034
-----------	------	-----------	------

事務事業名		日常生活用具給付事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		高齢・障害支援室		山田 喜弘	63-7591
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	障害者自立支援法

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	4	自立を支える障害者福祉の推進
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	172003
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	民生費	地域生活支援事業	
項	社会福祉費	(小事業名)	
目	障害者自立支援費	日常生活用具給付事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
在宅の重度身体障害者及び重度知的障害者(児)に、日常生活用具を給付することにより日常生活の便宜を図る。	

めざす効果(事業目的)	
障害者福祉の向上	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	介護・訓練支援用具 4件 481,600円 自立生活支援用具 18件 622,432円 在宅療養等支援用具 21件 581,068円 情報・意思疎通支援用具 17件 1,154,135円 排泄管理支援用具 718件 12,020,542円 住宅改修等 2件 400,000円 ほか		利用件数:1100件		
			現在の実施手法(複数選択可)		
		市が直接実施			
		業務委託(全部・一部)により実施			
		指定管理			
		補助金・交付金			
		その他 ()			
		平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)	
		利用件数:1100件	利用件数:1100件	利用件数:1100件	
直接事業費		15,305千円	17,000千円	17,000千円	17,000千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金	6,335	5,229	5,229	5,229
	県支出金	3,190	2,615	2,615	2,615
	地方債				
	その他()				
	一般財源	(0) 5,780	9,156	9,156	9,156
人工数	職員	0.15人	0.15人	0.15人	15.00人
	臨時職員等	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
概算人件費		(0千円) 1,180千円	1,180千円	1,180千円	109,585千円
+ 総事業費		(0千円) 16,485千円	18,180千円	18,180千円	126,585千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	給付件数	-	-	-	1,300	1,300
	実績		572	1,131	1,259	780	
成果指標	目標	障害者に対する住民の理解が進んでいるとする市民の割合	-	-	-	-	55.0
	実績		51.5	54.3	57.2	58	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
順調に目標数値達成に向かっている。	引き続き、事業を推進し、一人でも多くの市民の理解が得られるよう努める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
法律、制度改正への的確な対応が求められる。	法律・制度改正等にかかる迅速かつ適切な情報提供

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

障害者自立支援法に基づく事業

特記事項